

# 事務事業チェックシート

事務事業No  
**9715**

事業名  
**学校ICT環境設備整備事業**

[事業基本情報]

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	2	社会を生き抜く子供たちの学力の育成
施策	2	国内外の多様な分野で活躍できる人材を育む教育の推進
取組方針	1	国際化・情報化に対応した教育の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	教育総務費		
	目	教育振興費		
	大事業	教育振興事業		
	中事業	学校ICT環境設備整備事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	平成34年度	～	無し	担当課・担当課長・Tel 教育研究所 須佐 宏 435-1192
事業実施の根拠法令			関連課	

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	普通教室の校内LAN環境や一人一台のパソコンを活用して、児童生徒が意見の交流や発表、理解度に応じた学習が行える環境整備を推進する。		文部科学省「GIGAスクール構想」の推進に向け、児童生徒が一人一台のパソコンを活用して教科の学びを深めることができるよう、学校ICT環境の充実を図る。			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		高速かつ大容量の無線LAN環境を全小・中学校に整備し、児童生徒が普通教室において学習者用コンピュータを活用できる環境を整える。	令和2年度中に新增設した学級に校内LAN環境を整備する。また、中学校の普通教室に大型提示装置を設置する。	パソコンの修繕費の確保およびGIGAスクール運営支援センターの構築	パソコンの修理に対応する保険もしくはそれに代わる修繕方法を検討する。また、GIGAスクール運営支援センターを構築する。	パソコンの修繕費の確保。GIGAスクール運営支援センターを構築する。

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	751,024	1,711,002	0	32,855	18,029	34,699	76,857	0	76,857	0
伸び率(%)	0%	0%	△100%	△98.1%	0%	5.6%	326.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	7,166	9,475	4,577	4,112	4,413	4,039	4,488	0	0
	正規職員以外	1,051	1,236	608	684	728	780	780	0	0
	小計	8,217	10,711	5,185	4,796	5,141	4,819	5,268	0	0
国庫支出金	0	1,411,607	0	32,855	5,791	0	49,779	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	299,200	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	751,024	195	0	0	12,238	34,699	27,078	0	76,857	0
所要人数(人)	正規職員	0.90	1.19	0.59	0.53	0.59	0.54	0.60	0.00	0.00
	正規職員以外	0.57	0.57	0.28	0.32	0.34	0.35	0.35	0.00	0.00
主な予算内訳	9月補正19,985千円 12月補正18,073千円 2月補正▲5,194千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	和歌山市立小・中学校、義務教育学校、高等学校の普通教室の無線ネットワーク設置率	%	100	100	100	100	
			100	100	100		
			100%	100%	100%	%	
成果指標	和歌山市立小・中学校、義務教育学校の児童生徒学習用端末1台あたりの児童生徒数	人/台	1	1	1		
			1	1	1		
			100%	100%	100%	%	
活動指標	和歌山市立小・中学校、義務教育学校の児童生徒学習用端末1台あたりの児童生徒数	人/台	目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

#### 4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	令和2年度中に和歌山市立小・中学校、義務教育学校にGIGAスクール構想で導入された学習者用端末と校内ネットワークを活用し、授業での活用が進み、家庭への持ち帰り学習も増えている。
見直し・改善内容	校内無線ネットワークや児童生徒学習用端末の整備に伴い、効果的な活用方法の研修や故障・破損への対迅速かつ的確な対応が必要になる。